

加藤 克之 議員 誠進会



問 暮らしやすい交通安全対策を

答 安心安全な生活を応援したい

問 近年における運転免許証の自主返納者数は。

答 介護高齢課長

平成28年度75名。
29年度128名。
30年度124名。

問 自主返納者に対する現在の対応は。

答 75歳以上の返納者に24枚のタクシードライバー交付。

問 今後の自主返納者への対応は。

答 タクシードライバー交付枚数の見直しを行いたい。

問 新たに交通安全対策として、踏み間違い装置を他県で導入しているが、本市の考えは。

答 急発進や踏み間違いを防ぐ装置の導入を支援していきたい。

問 踏み間違い装置を設置する人に補助金助成の考えは。

答 タクシードライバー24枚相当の1万5千円ほどを考えた。

問 市長の見解は。

答 市長の見解は、人もされた人にも生活環境に合わせた選択肢を提示し、安心安全な生活を応援していきたい。



問 健康都市に向けての取り組みを

答 さまざまな観点で取り組んでいく

問 中学3年生の教室に加湿器を備えては。

答 十四山中では保健委員がぬれタオルを各教室に配布。

各校エアコンで冷え込みを防ぎ、換気を小まめに行い、ウィルス濃度を下げ、うがい、手洗いも励行している。インフルエンザ予防にさまざまな観点で今後も取り組んでいく。



問 中学3年生にインフルエンザ予防接種の助成金を。

答 健康推進課長 各家庭の判断と負担でお願いしたい。

問 市長の見解は。

答 市長 県内市町村の動向や本市の財政状況を見ながら可能か、対象範囲や助成方法も含め考えたい。

問 中学生の総人数は。

答 学校教育課長

弥富中594人。
弥富北中476人。
十四山中142人。
合計1212人。

